

すくすく たけのこ



“目標”と“励ましの力”で前進！

1年生の教室前には、創立者が「ししのこひろば」と命名された庭が広がっています。そこには、かわいい子どもたちがお世話をしてきたアサガオが、青や紫の花を美しく咲かせています。関西グラウンドの「なかよし農園」には、東北石巻の「ど根性ひまわり」が、太陽のような大輪の花を次々と咲かせ、まさに夏真っ盛りです。



最近、嬉しいことが2つありました。

1つは、この7月、**夢を叶えた卒業生**が母校に帰り、嬉しい報告を後輩たちにしてくれたことです。**卒業生の活躍**は、私たち教員にとって**何にもかえがたい喜び**です。

もう1つは、姉妹校である関西創価高校の先生から、小学校の卒業生についての活躍を聞く機会があったことです。近年、一貫教育を受けてきた関西創価小学校や関西創価中学校の児童・生徒たちの**SUA(アメリカ創価大学)**や**国公立大学の医学部・国公立大学の合格者**に占める割合が、増えてきているというのです。それだけでなく、国際機関と連携しての特設プログラムである**関西創価高校のLC(ラーニングクラスター)**を受講する生徒や、**英語検定準一級以上における合格者**の数も一段と伸びているとのことでした。

夢や目標をもつということ、そして、**それに向かって、努力し、歩み続けるということ**は、大変素晴らしいことです。

今回は、そうした「**目標**」についてのお話をしましょう。

目標には2種類の目標があるのをご存じですか。「**結果目標**」と「**行動目標**」です。「**行動目標**」は、「**努力目標**」とも言われます。

突然ですが、ここでクイズをやってみましょう。

下の表に6つの目標が書かれています。

- ・「**結果目標**」と思われたら、AにOをつけてください。
 - ・「**行動目標**」と思われたら、BにOをつけてください。
- それでは、どうぞ。

No.	目 標	結・行
①	マラソン大会で3位以内に入る。	A・B
②	近くの公園を3周走る。	A・B
③	定期テストで360点以上とる。	A・B
④	夜に20分の読書をする。	A・B
⑤	読書冊数で、クラスナンバー1になる。	A・B
⑥	毎朝10人に元気にあいさつをする。	A・B

どうですか。



答えを整理したものが、次のページにありますので、答えあわせをしてみましょう。



【答え】

No.	目 標	結・行
①	マラソン大会で 3 位以内に入る。	Ⓐ・Ⓑ
②	近くの公園を 3 周走る。	A・Ⓑ
③	定期テストで 360 点以上とる。	Ⓐ・Ⓑ
④	夜に 20 分の読書をする。	A・Ⓑ
⑤	読書冊数で、クラスナンバー1 になる。	Ⓐ・Ⓑ
⑥	毎朝 10 人に元気にあいさつをする。	A・Ⓑ

まとめると、こうなります。

【結果目標】 A

- ①マラソン大会で 3 位以内に入る。
- ③定期テストで 360 点以上とる。
- ⑤読書冊数で、クラスナンバー1 になる。



【行動目標】 B

- ②近くの公園を 3 周走る。
- ④夜に 20 分の読書をする。
- ⑥毎朝 10 人に元気にあいさつをする。



上が「結果目標」。下が「行動目標」です。ご覧になって何か気付かれませんか？ そうです。目標には「すべて数字」が入っています。目標は**具体的に立てることが大切**です。また、この2つの目標の違いを考えると、「**結果目標**」は、ほとんどが**周りの環境や人の影響を受けます**。例えば、マラソンの練習を一生懸命頑張っても、他の子がその子以上に努力をして皆の実力が向上した場合、「3 位以内に入る」という目標を達成できない場合があります。反対に「**行動目標**」には、それがありません。**自分の努力で達成することが可能な目標**です。つまり、「**プロセス**」を大事にしているのです。それが「行動目標」が、「**努力目標**」でもあると言われるゆえんです。

目標を立てる場合、こうした**目標の特徴をよく理解して、立ていくことが大切**です。

とりわけ、**子どもが小さければ小さいほど「行動目標」が大事**になってきます。



小説『**新・人間革命**』若芽の章に、創価小学校教員との懇談の場面があります。その中で、創立者は、「**教育にとって大事なことは、安易に結果を求めるのではなく、物事のプロセスを習得させることにある。**」と語られています。



子どもたちが成長していく過程には、もちろん結果も大事ですが、それ以上に、その**目標に向かって取り組む姿を見ていくことが**

大切です。そして、その態度や姿勢、努力に対して、「よくがんばったね。」「すごいね。」「お母さん(お父さん)、嬉しいよ。」など、「**励ましの言葉**」をかけていくことです。励まされた子どもの顔は、誇らしげな顔をしています。そうした周りの人からの「**励ましの風**」を背に受けて、子どもは、自らの「夢」という「大空」に舞い上がっていくのです。

SUA(アメリカ創価大学)に合格した、ある卒業生は、こんな言葉を残しています。

「私が SUA に行きたいと言った時、関西小の先生は、『**あなたなら、きっと行けるよ。**』と言ってくれました。関西中・関西高の先生も、同じように励ましてくれました。結果が思うように出ない時も、**創価の先生方は、私の「可能性、をどこまでも信じ激励してくれました。そうした「励ましの力」で、私は使命の扉を開くことができました。**」と。

少しずつでも**前に進もうという気持ちを大切に**し、その**子どもの「可能性、を信じ抜き、個々の特性をありのままに受け入れながら、励まし続けていく**ということが、私たち創価の教員が**創立者から教えていただいた子どもへの関わり方**です。

自分が成長している時、子どものすごさが見えます。逆に自分の成長が止まると、子どもの欠点ばかりが目につくものです。**「短所しかない人はいない。長所だけの人もいない。だから長所を伸ばしていこう。そうすれば短所は自然のうちに隠れていくものです。」**との創立者の言葉が胸に響いてきます。

「ひまわり」の和名は、「向日葵 (ヒマワリ)」。花が太陽の方向を追うように動くことに由来します。英語では「太陽の花 (Sunflower)」です。ひまわりのような温かい関わりを子どもとしていきたいと願う日々です。(晃)

